

事業番号	09 06 10	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業大学校研修事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-3-1 農山村産業クラスター形成プロジェクト 3-4-1 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト		課・室	農村振興課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 1 夢ある農業を実践する経営体の育成		E-mail	noson@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	H22 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	多様な担い手の育成のための研修拠点としてカリキュラムを編成し研修を行うことにより、農業の担い手確保・育成を図るとともに、県民の農業への理解を促進する。		
現状	長野県で就農したい人が就農に向けて研修する新規就農里親前基礎研修、農作業を体験するアグリターン農業研修、農家子弟、新規就農者、農村女性等が農業経営に必要な技術向上のために研修する農業機械利用技能研修、農業に関心のある県民に農業理解の促進を図るための農業体験研修などを実施している。平成23年度は1,025名が研修を受講した。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県が主体となり、就農希望者、農業者、一般県民までを広く対象として研修会等を実施している。今後は、県内で農的な暮らしを求める者向けの研修や女性向けのカリキュラムも検討しており、多様な就農希望者等に対する支援として県における実施が必要である。	
	県民との協働による実施：困難		

事業内容	① 成果目標 (H25)			
	アグリターン農業研修受講者数:110人 新規就農里親前基礎研修受講者数:20人 農業技術力向上研修(大特・けん引)受講者数:220人 親子ふれあい体験研修受講者数:270人			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初) H25 (決算) H26 (当初)
新規就農支援	直接	・新規就農里親前基礎研修:8人 ・アグリターン農業研修入門コース:8回、35人 ・アグリターン農業研修体験コース:8回、86人	2,299 2,092 2,231	
農業技術力向上支援	直接	・農業機械利用技術向上研修(大特):7回、146人 ・農業機械利用技術向上研修(けん引):5回、90人 ・農業機械利用技術向上研修(刈払機):5回、120人 ・農業機械利用技術向上研修(耕耘):5回、16人	2,062 1,804 2,144	
農とのふれあい	直接	・親子農業体験:8回、173人 ・園芸セミナー:1回、59人 ・食育セミナー:1回、21人	314 78 860	
合計			4,675 3,974 5,235	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	5,170	4,688	4,675	5,235
	補正予算				
	合計(A)	5,170	4,688	4,675	5,235
	国庫支出金	1,962	1,662	1,492	1,357
	県債				
	その他( )	1,768	1,360	1,782	2,656
	一般財源	1,440	1,666	1,401	1,222
	決算額(B)	5,048	4,640	3,974	
概算職員数(人)	4.00	4.00	4.00	4.00	
概算人件費	33,032	33,032	33,032	33,032	
概算事業費(B(A)+C)	38,080	37,672	37,006	38,267	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26
		目標	成果	達成状況	目標
アグリターン農業研修受講者数(就農体験研修)	113人	110人	121人	達成	105人
新規就農里親前基礎研修受講者数	14人	20人	8人	未達成	
農業機械利用技術向上研修(大特・けん引)	234人	220人	236人	達成	480人
農業技術力向上支援受講者数					
親子ふれあい体験研修受講者数	163人	270人	173人	未達成	610人
農とのふれあい受講者数					

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農里親前研修は、一定の農作業経験があり、里親前研修を経ずに農業者(里親)の下での研修を希望する方が多かったことから研修の受講者数は目標を下回った。</li> <li>・アグリターン研修は就農相談会で受講を積極的に勧めた結果、目標を上回った。</li> <li>・農業機械利用技術向上研修は、農業後継者等に対し、大特、けん引の免許が得られることなどのPRに努めたことにより目標を上回った。</li> <li>・親子ふれあい体験研修の研修受講者数は、申込み者は定員を満たしていたが、梅雨時期の参加者の減や大雪による開催中止等により、目標を下回った。</li> </ul>
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・農業後継者や、県外から長野県内での就農を目指す新規就農者に対する技術力、経営力の向上を図る再教育の場としての役割を果たすため、研修内容の充実・強化をしていく。H26は就農後5年未満の農業者向けの農業技術・経営スキルアップ研修を新たに実施する。 ・県内で農業生産を楽しみながら、移住生活を希望する者向けにH26から「農ある暮らし入門研修」を実施し、移住交流促進のための研修を充実していく。
--------------------	--